



スーパートライWall

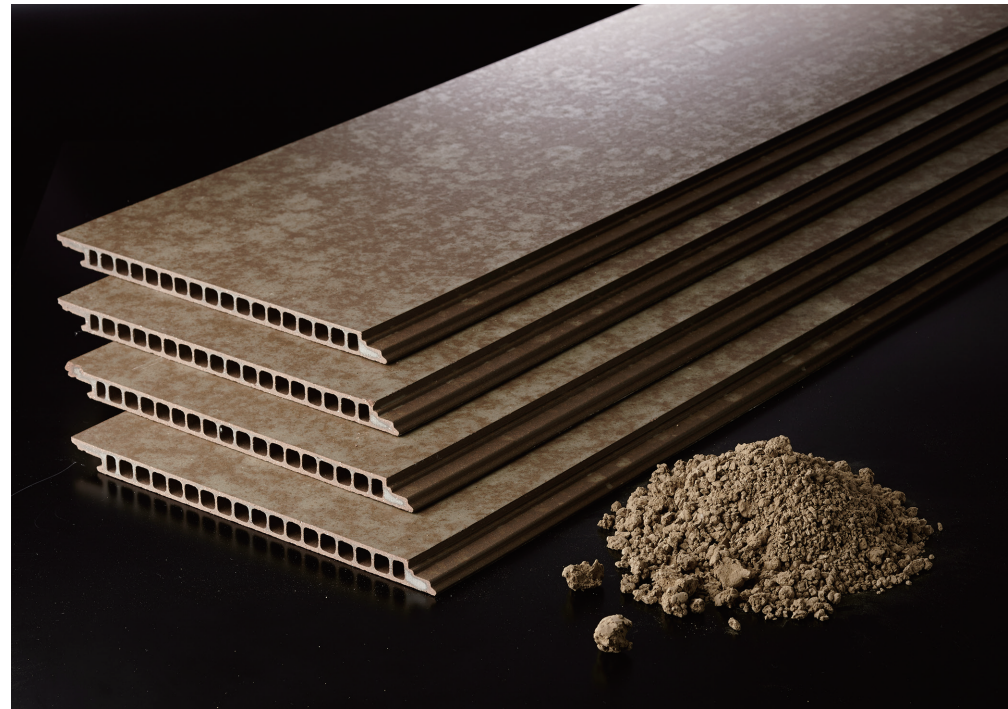
耐用年数

60年

製品の概要

唯一無二
大判サイズの陶器の壁材

1,810mm×303mmの大判サイズの壁材です。伝統的な瓦の製法を、革新的な技術で壁材に継承。130年の実績に裏打ちされた確かな品質を保證します。



製品の特徴

■ 高耐久

約1,130℃の窯で焼きしめた陶器の壁材。塗装による着色とは違い、色落ちや劣化が起りません。



■ 大判+金具留めで省施工

1,810mmと長尺の製品を、金具で留めることで施工します。焼き物でありながら、一般的な窯業系サイディングと同感覚で施工が可能です。



一般資材との違い

■ 焼き物だから色落ちしない 圧倒的に差が出る塗り替えメンテナンスコスト

瓦と同じ方法で造られた陶器の壁材です。色落ちがないため外壁では一般的な塗り替えが不要。生涯かかるメンテナンスコストを考えるととてもお得な壁材です。

	15年	30年	45年	60年	合計
スーパートライWall	0円	目地打替え 70万円	0円	目地打替え 70万円	~ 140万円
シールレス工法の場合	0円	開口部まわりの 目地打替え ~ 30万円	0円	開口部まわりの 目地打替え ~ 30万円	~ 60万円
一般的なサイディング	目地打替え/塗装 ~ 200万円	目地打替え/塗装 /増貼り/張替え ~ 250万円	目地打替え/塗装 ~ 200万円	目地打替え/塗装 /増貼り/張替え ~ 250万円	~ 900万円
					差額 760万円

※住宅産業協議会「住まいのメンテナンススケジュール」より(170㎡の外壁、足場代別途25~40万円必要、スーパートライWall純正品目地は30年耐久。)

特にアピール

圧倒的な存在感で格調高い空間を演出

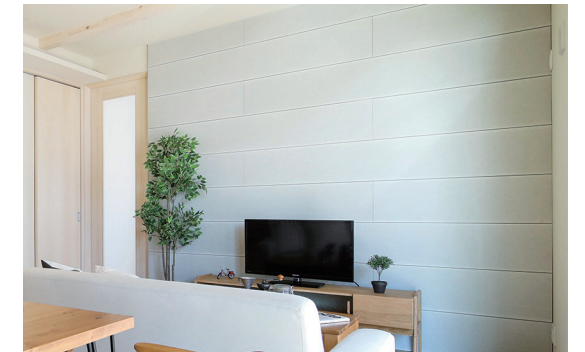
外壁

圧倒的な存在感で拡張高い佇まいを演出する壁材です。塗装メンテナンス不要で高いコストメリットがあります。



内壁

陶器の重厚感とぬくもり。菌の温床になりやすい壁を抗菌できるメリットがあります。



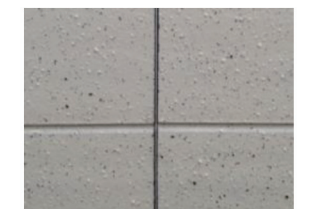
シールレス工法でシャープな印象に

瓦と同じ方法で造られた陶器の壁材です。色落ちがないため外壁では一般的な塗り替えが不要。生涯かかるメンテナンスコストを考えるととてもお得な壁材です。

従来工法



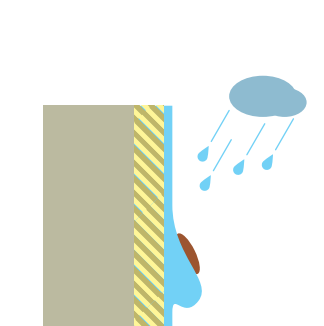
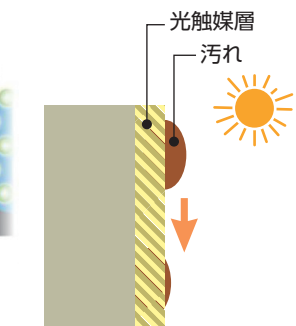
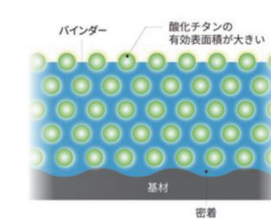
シールレス工法



セルフクリーニング機能でキレイ長持ち

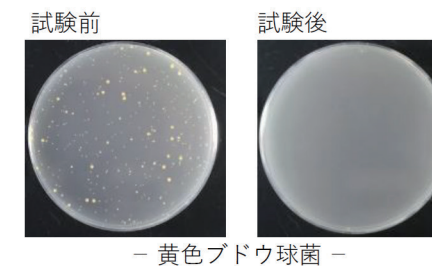
高い酸化分解力と親水性をもつ光触媒の効果によりきれいな状態がながく続きます。

光触媒構造

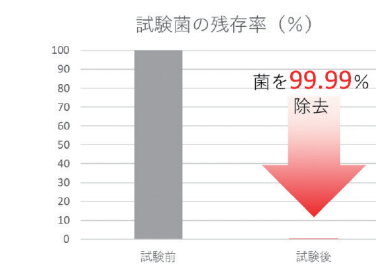


一日中細菌やウイルスの増殖を抑制する抗菌・抗ウイルスシリーズ

床よりもホコリが付着しやすく菌やウイルスの温床になりやすい壁。抗菌・抗ウイルスシリーズは無機抗菌金属の作用で昼も夜も抗菌・抗ウイルス効果が期待できます。



試験前 試験後
- 黄色ブドウ球菌 -



【活性値】	耐水性	耐光性
大腸菌	5.8	5.8
黄色ブドウ球菌	4.1	4.87
インフルエンザウイルス	4.1	3.7
ネコカリシウイルス	4.3	2.1

提供価格

営業企画部陶板推進課へお問い合わせください。
電話 0569-29-4699

株式会社鶴弥 営業部
電話 0569-29-4999

<https://www.try110.com/>
ホームページはこちら





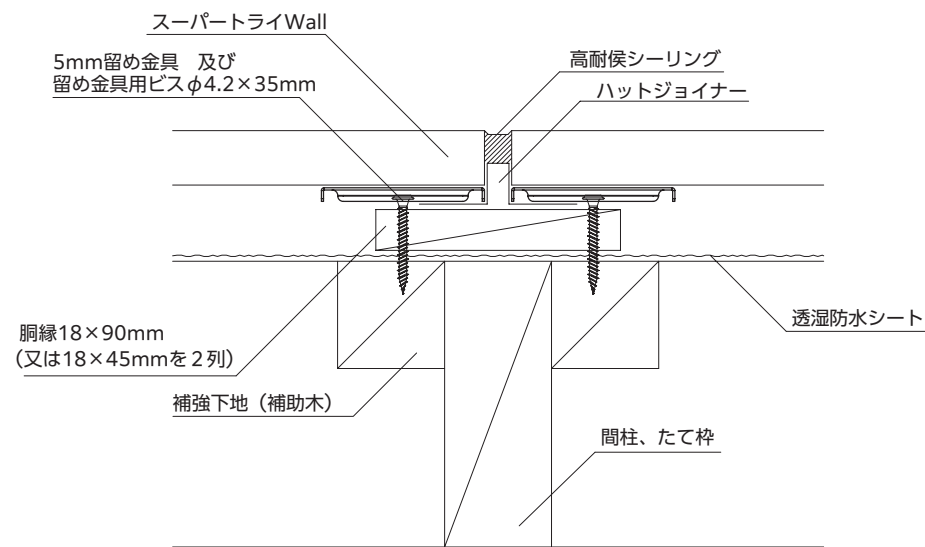
スーパートライWall

設計・施工

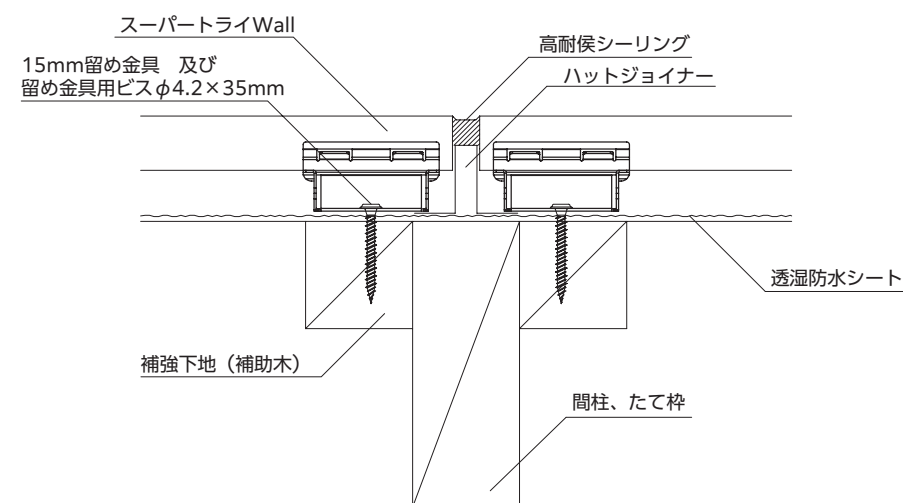
板間の施工に関して、通常のシーリング納まりとシールレス工法があります。シールレス工法はシーリングの劣化が生じないため、特にメンテナンスの必要はありません。施工状態は次ページの写真のようになります。ただし、次ページの図の注釈に示すように、開口部回りや軒天井との接合部などに関してはシーリングが必要となりますので、そのメンテナンスは必要となります。

間柱やたて枠での縦目地部の納まり例

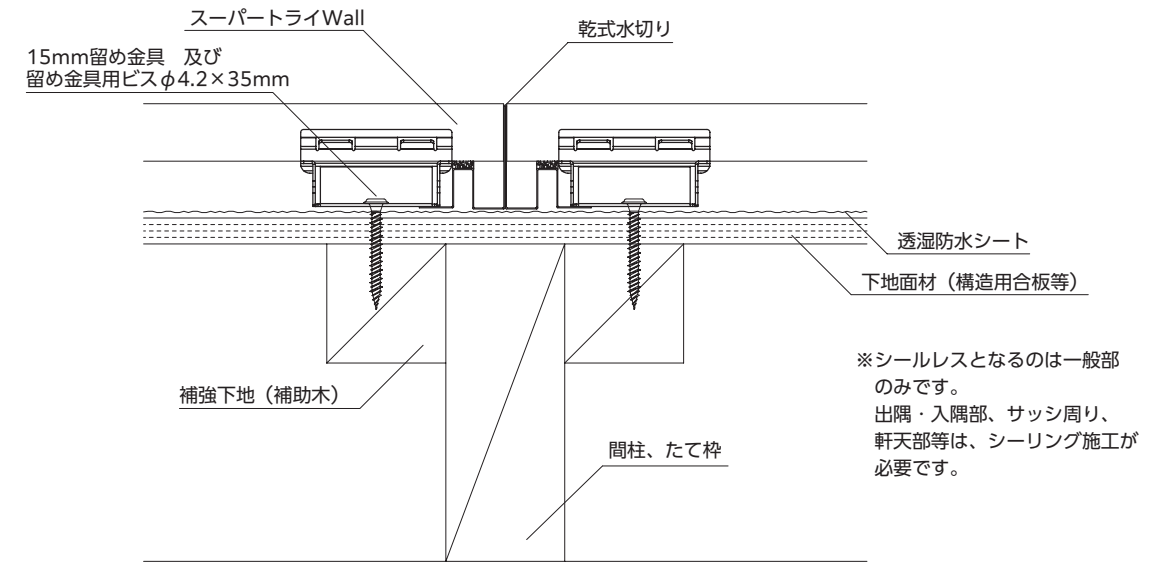
< 胴縁下地仕様の場合 >



< 通気金具工法の場合 >



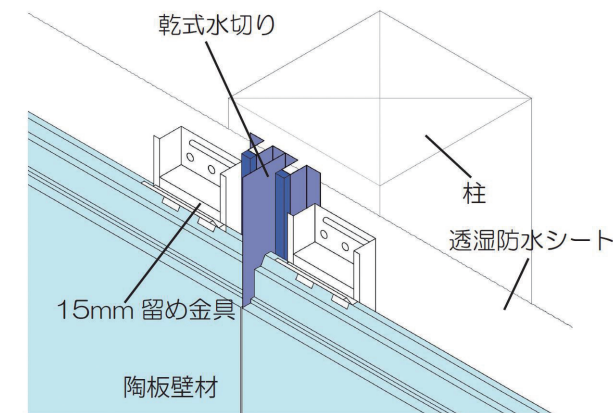
< シールレス工法の場合 >



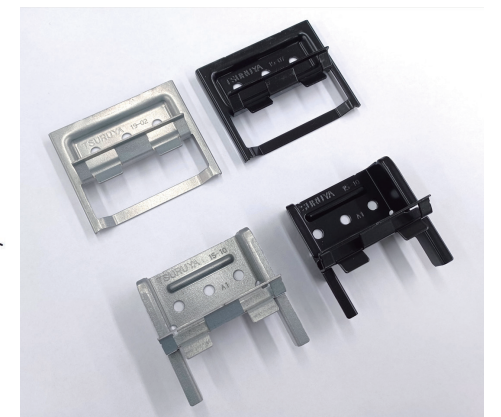
平部 (縦目地部)

(シールレス工法の施工上のご注意)

- ・ 通気金具(15mm留め金具)に限定した工法となります。
- ・ 施工仕様上、屋外側に構造用合板12mmを張るなど、ビス引き抜き強度が期待できる下地面材を施工してください。
- ・ 平部 (縦目地部)に限定した工法です。出隅・入隅部、軒天部、サッシ周りは従来通りシーリングにて納めてください。
- ・ 陶板壁材の縦目地部がサッシ横から100mm以上離れるように割り付けてください。乾式水切りが納まらない場合があります。



※ シールレス工法では、本体長さ1,818mmが標準となります。



設置金具 上段5mm高、下段15mm高

- ・ 施工は必ず専門工事業者による施工を行ってください。
- ・ 事前に設計施工要領書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- ・ 陶板壁材の固定には専用の金具を使用してください。
- ・ 陶板壁材は透湿防水シート並びに防水テープなどによる二次防水が必須です。
- ・ 通気工法を標準としています。(通気工法の効果を十分なものにするために通気のための隙間は15mm以上としてください。)
- ・ 陶板壁材は衝撃や地面の不陸によって割れやすいため、取り扱いにはご注意ください。
- ・ 陶板壁材は横張り専用製品です。

株式会社鶴弥 営業部
 電話 0569-29-4999
<https://www.try110.com/>

ホームページはこちら

